

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅

グループの名称 やまぐち木の家ネットワーク

直近採択グループ番号 06-0286-0655

(グループ代表者)

代表者名	<u>原 孝夫</u>	代表者印
代表者所属先	<u>株式会社原工務店</u>	
代表者所在地	<u>山口県防府市桑山2丁目11-18</u>	
代表者電話番号	<u>0835-38-0233</u>	

(グループ事務局)

事務局事業者名	<u>株式会社トピア</u>	
事務局担当者名	<u>山本 聡</u>	印
事務局郵便番号	<u>753-0871</u>	
事務局所在地	<u>山口県山口市朝田131-1</u>	
事務局電話番号	<u>083-928-5566</u>	
事務局FAX	<u>083-924-3399</u>	
事務局担当者E-mail	<u>yamamoto@topia-i.co.jp</u>	



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	4	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟	
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	
					0	m <sup>2</sup>	
					0	m <sup>2</sup>	
当グループに参加する工務店で使用できる戸数を聞き一棟ずつ均等に配分しまだ配分がある場合は施工できる工務店に配分する。							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数	2					戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数	0					戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数	0					戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸		
完了実績(竣工予定含む)戸数	4					戸	
優良建築物型							
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟		
完了実績(竣工予定含む)棟数	0					戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>		
完了実績(竣工予定含む)床面積	0					m <sup>2</sup>	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) やまぐち木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0286-0655	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最近のゲリラ豪雨に対応するために軒樋・縦樋・外構の雨水排水量を計算する。</li> <li>● 瓦屋根は全数ビス止めする。</li> <li>● 自立循環型設計ガイドラインの自然風の利用の気象データ資料を基に建設予定地の7月の卓越風を見越した居室の風の入り方を検討する。</li> </ul>	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構法は地域に伝わる在来軸組み工法とし、長期的な間取りの変化に対応できるようにする。</li> <li>● 外部に耐力壁を集中して設け、内部の間取りの変更が比較的可能な耐力壁構成とする。</li> <li>● 建て方後防水の処置を行うまでの間に構造躯体を雨水に濡らさないように、シートにて養生をできるだけ行う。</li> </ul>	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軒の出を60センチ以上出す提案を行う。そのことで夏の日差しをさえぎり外壁の汚れ防止や劣化を防ぐことができる。</li> <li>● 積雪地域にある住宅で大屋根の場合は雪止めを設ける。</li> </ul>	◎
④①～③の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山口県は瀬戸内海に面しており瀬戸内海式気候である。しかし、冬の季節風による雪や、山口盆地などの盆地特有の気候など決して暖かいだけの地域とは違う。特に梅雨時期・台風時には降水量が非常に多く被害も頻繁に起こっている。また台風が比較的多く通過する地域のため風への対策も必要な地域である。</li> </ul>	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植林費用を捻出し植林活動の助成に当たる仕組みづくり。</li> <li>● &lt;昨年度、308,400の金額を再造林を行う個人に植林費用の補てんとして支払完了しました。今年度は50万円程度支払予定。&gt;</li> <li>● 工務店からは製材所側に一定の棟数の木材を発注し、製材所から工務店へ、材料や価格の安定供給を行うための協定書を交わしている。</li> </ul>	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●平成24年より用材の寸法規格化に取り組み構造材の規格化を図ったものを運用。(4寸・3.5寸材に適用)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●使用する建材(県産無垢材に限る)を統一するため、木材の柱・梁の材料を取って残りなどのような建材に有効利用ができるか検討を行っている。その木割により、間柱・胴縁・垂木の建材の寸法の統一を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●やまぐち木の家ネットワークのモデルプランを作成しておりこれに基づく標準仕様(材料並びに仕様を決定)を決めている。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●構造材においては価格・品質の協定を行っている。また中小の製材所から材料を供出して頂けるような協定を作成している(A製材所からは桁・梁、B製材所からは柱、C製材所からは土台等)このことで生産量の少ない製材所も工務店に木材を安定供給できる	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●次の月の木材の使用量は毎月の全体会議で工務店から伝達し、その後の製材会議にてどの製材所がどれだけの部材を供出できるかをその場で話す仕組みを持っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ●2カ月に一回の会議にて合理化できることはないかを検討。今後発注業務並びにストックの木材の量をインターネット内に整備計画も検討。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ●構造材については工務店からの一定供給がなされているかを確認し、その材料が製材所に平等に分配されているかを確認する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ●梁断面算定ソフトを当グループにて作成し活用(仕様部材を決めているために要件を打ち込むとその部材断面を登記できるソフトの作成)断面基準も明確にしている。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ●合法木材に加えやまぐち木の家ネットワーク独自の基準(乾燥方法や節の数等)を定め木材の見た目をより重視した基準にしている。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ●構造材の価格はグループ内は共通しており、価格が一定であり、よりよい材料が安定して入ることをうたっている。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ●無垢材を広く活用できないかと取り組み山口県にある建材試験センターにて無垢材の床剛性の試験を行い床倍率2.4倍を取得した構法の開発を行った。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各社に週休2日の導入を促す	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 今この取り組みに参加している企業は全て社会保険に加入しているがそこで働かれている職人さん達にも社会保険の加入を呼びかける	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 年に一度の健康診断を受けてもらうよう促す	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一部記載しているが製材所のグループと山口県森林組合連合会並びに製材所と工務店がそれぞれ山口県の木材を使用する利用協定を結んでいる。山側は製材所に安定的永続的に購入してもらい、製材所は木材の価格の安定化を図る。また製材所は工務店に一定量を使用する約束をしており、そのことで安心して製材を行うことができる。工務店も優先的に価格の安定した、よりよい材料を購入できるというメリットがある。</li> <li>●再造林支援制度として個人の森林所有者に苗木の補助を行うことで再造林の活動意欲を促す。</li> </ul>	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) やまぐち木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0286-0655		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●工事写真の撮影ヶ所の共通化を図っている。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●各社10年まで(瑕疵保険内)の点検時期を報告されておりその期日が防蟻等の保険に適合しているかは確認済。その後有償にて15年20年25年30年の定期点検の実施。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●住まいの管理手帳を基にメンテナンス方法や、補修方法が記入されておりこれを共通ルール	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●30年間の維持保全計画を基に行われているか確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●住まいの管理手帳を基に会にて勉強会を再度実施予定。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●9月にイベント開催予定。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●やまぐち木の家推進協議会主催のやまぐち木の家フェアに参加予定。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●維持管理またアフターメンテナンスを共有するグループを作成しており、その活動をやまぐち部会として再開させる。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●全棟に住まいの管理手帳をお渡しし、住まい手自ら維持管理を務めていただくことを行う。	◎	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●廃業・倒産事業者の建てられた住まい手の相談窓口を事務局に設ける。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●住まいのコンシェルジュの育成を行っており、共通の瑕疵について対処方法など共有する。		◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	今後新築・リフォーム・環境・構造・インテリアなどすべての住まいに関する疑問を聞き回答できるなんでも相談コーナーを開設し、ワンストップで住まい手の疑問・質問に答えられる体制を事務局内に整える。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●優良県産木材認証制度に加えやまぐち木の家ネットワーク独自の基準を定め乾燥技術並びに見た目をより重視した基準にしている。		◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●現場搬入の際の目視検査。		○
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●やまぐち木の家ネットワークの材料の使用量の取り決めを毎年行っており今年は15棟の材料利用を製材所側と工務店側で取り決めている。		◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●技術力は今までの培われてきたものに加え、省エネルギーの根本的な理解が必要と考え、自立循環型住宅の講習会を受講するように指導していく。(過去には主催経験あり)		◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●製材所の乾燥技術は向上しているが個別乾燥している現状では柱と梁の乾燥具合が違うといったように問題が多い。そのため部位別供出を念頭に置いて取り組みを行う		◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 29 今年度の参加目標人数 3		○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数		○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●実施団体と連携し講習会の案内を積極的に行う		○
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ●自立循環型住宅の講習会を基にどのようにすればエネルギー削減と住宅の快適性が両立できるか検討する。		○
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	●今までこのグループでは無垢材の合成床の開発や木造住宅と鉄骨住宅の熱狂の差をサーモグラフィで表記したり充填断熱・外断熱と木造住宅の相性を見たりと様々な研究課題に取り組んできた。今後はより良い快適な環境に加え、優しい空間をコストをかけずに出来るか検討。またリフォーム工事についても会として取り組んでいく。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) やまぐち木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0286-0655	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
a	地域材利用に関する	◎
①	共通ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 山口
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> やまぐち木の家ネットワーク	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0286-0655	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴		
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。		
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
やまぐち木の家ネットワークでは未来に続く森林の育成とゼロエネ住宅による環境改善住宅です。		
建物性能は断熱性能を向上させ機械に頼りすぎないゼロエネルギー住宅の普及を旨とする一昨年に続き昨年も植林費用の補助を行い未来の子供達に木材を絶やさない取り組みを行っています。		
今後はLCCM住宅に移行できるよう取り組みます。		
ゼロエネ性能数値目標		
外皮平均熱逓流率(UA)      0.56 W/m <sup>2</sup> K		
全体のエネルギー削減量(R)      105 %		
太陽光を除くエネルギー削減量      28 %		
ランクアップ外皮性能目標		
外皮平均熱逓流率(UA)      0.48 W/m <sup>2</sup> K		
全体のエネルギー削減量(R)      105 %		
太陽光を除くエネルギー削減量      28 %		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。